

news 88

第28号
(2003年4月)

“留学生活今昔 その2”

小田野 宏之
(おだの ひろゆき 指揮者)



「音楽づくり」の場であることをあらためて思い知らされました。自分の演奏に対する考えや姿勢を根底から考え直させられた、何にも代え難い体験でした。

大学の指揮科は日本の音大の副科のような感じだったので、いわゆる指揮の技術については新鮮な刺激はほとんどありませんでした。しかし驚いたのは学生たちの表現意欲。話には聞いていましたが、技術は未熟でもとにかく自己主張が旺盛で、結果としてやりたいことがこちらに伝わってくるのです。特にイタリア人の同級生は指揮もピアノもイマイチだし、やろうとする音楽も「？」ということが多かったのですが、うまく振れないと歌い出してしまふ彼の指揮には私にとって学べべき事も多かったのです。でもこういう姿勢を勘違いして吸収し、自己中心のわがままになって帰国する留学生が多いのも残念ながら事実です。

当時学生はフリーパスだったので、美術館や博物館にはよく通いました。次回はその辺のお話から・・・

プロフィール

東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。同大学大学院終了。
大阪センチュリー交響楽団指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。
東京芸術大学非常勤講師。

(社) 全日本ピアノ指導者協会は英国王立音楽大学
(Royal College of Music) の入試代行事務局と
なっています。2003年度は10名が英国留学します。
TEL:03-3944-1583
<http://www.piano.or.jp/rcm/index.html>

今回は20年前のウィーンでの留学生活、その音楽編。何よりの刺激は国立歌劇場。何しろ夏の2ヶ月の休み以外は毎晩異なるオペラが上演され、しかも世界最高レベルを立ち見なら200円ほどで観ることができのです。私のお気に入りには「ギャラリーレヒツ」つまり天井敷敷右側。舞台を楽しむには1階後方の立ち見席の方が良いのですが、5階からだとも舞台はもちろんピットの中のオーケストラと指揮者の様子が実に良く観察できるのです。3日に1回は通いましたっけ。たった一度立ち見席のために徹夜で並んだのは、クライバーの「ボエーム」。舞台ではフレニーやバヴァロッチが歌っているのに、私はピットのクライバーのみを瞬きもせず見つめていました。また「マイスタジンガー」の休憩時間に立ち見席のすぐ前の座席に座っている老婦人が話しかけてきて、「さっきボーグナーが歌詞を間違えたでしょ？」と言うではありませんか！おたまたまげました。

ウィーン・フィルなどこの街の4つのオーケストラの練習を見るのも貴重な時間。私にとってはもしかしたら留学の最大の成果かもしれません。楽友協会やコンツェルトハウスなど本番会場練習するので、守衛さんと顔見知りになって入れてもらうのです。中でもウィーン・フィルの練習は圧巻。練習初日の最初の音出しで、楽員全員が既にその曲を(たとえ「珍曲」であっても)ほとんど把握しているのが良くわかります。フレージングなど合わねなくて合ってしまう様子には言葉もありません。響きやバランスも音色も、まるでレコードを聴いているように全て整っているのです。超一流の指揮者と世界一のオーケストラとの練習は物理的にも精神的にも膨大な情報が飛び交っていて、練習が「練習」でなく



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★サーベル社

●ツェルニーコンタクト ツェルニー30番にかえて 遠藤蓉子編 1300円+税
ツェルニーセレクトの続編。 ツェルニー30番のテーマを吸収しながら、楽しく弾き進んでいける曲をツェルニーの他の練習曲から選んでいます。

★春秋社

●園田高弘校訂 ベートーヴェン・ピアノソナタ 第六回配本
1.第4番 変ホ長調 1,400円 2.第11番 変ロ長調 1,400円 3.第15番 二長調 田1,000円
4.第19番 二長調 1,000円 5.第20番 ト長調 1,000円 6.第24番 嬰へ長調 1,000円
学習者必携の発売です。 3月下旬発売

★デプロ

●弾きたくてショパン 夜想曲第20番嬰ハ短調「遺作」デプロ編 64頁 1,500円+税 CD付き+楽譜集
戦場のピアニストでも注目している遺作をはじめショパンの名曲をやさしいピアノアレンジで。模範演奏CD付き
●魅惑のピアノノ名曲100選1・2ハ調で弾くピアノ デプロ編 各128頁 各1,500円+税
各巻全50曲。100曲ものクラシックの名曲をやさしいハ調にアレンジ。初心者にもあこがれのクラシックが楽しめるピアノ・アルバム。

★ドレミ楽譜出版社

●ドレミファ音符でやさしい よい子のバイエル導入ドリル
森本琢郎・池田恭子編 48頁 本体700円+税
こどものバイエル導入教本のドレミファ音符版がリトルポブドッグと一緒に登場です。3~4歳を対象に感覚的学習を優先させました。

●がくふのーと・トおんきごうのれんしゅうへおんきごうのれんしゅういろいろなきごうのれんしゅう
森本琢郎・池田恭子 共著 各40頁 400円+税 3月上旬発売
子ども達の練習ノートの登場です。点線をなぞったり曲を完成しながら覚えていきます。

●指導者のための ピアノレッスンカルテ
佐土原知子・高橋俊之 共著 128頁 1,400円+税 3月下旬発売
レッスンを教室経営という視点からとらえ、時間と情報を管理するのに便利なシートを収録。それぞれの教室に合わせたアレンジも可能です。A4版30穴はぎとり式。

★全音楽譜出版社

●チェコ ピアノ作品集 第1巻 古典派 伊藤仁美校訂 関根日出男解説 2,000円+税
音楽の都チェコの作曲家の中から優れたピアノ曲を残した15人の作品50曲を厳選。古典から近代まで時代別2冊に収録。今月は第1巻の登場です。収録作曲家：ベンダ・ドゥシェク・ヴァニユハル・コジェルフ・レイハ・トマーシェク・ヴォジーシェク

★ヤマハミュージックメディア

●ミッフィーのびあひの絵本1~3 3月中旬発売 各32頁 各800円
ミッフィーの絵本から飛び出したイラストと、そのイラストにぴったり合った音楽フレーズで出来たこのテキストは小さい子が楽しくピアノと触れ合いながら知らず知らずの間に楽譜に親しみ、演奏をステップアップしていくことが出来るオールカラーの夢のピアノメロッドです。

●ミッフィーのびあひの絵本わくわく伴奏集
上記絵本1~3の全曲に曲のイメージを高める指導者用のピアノ伴奏が付きました。
その他ミッフィー関連商品も同時発売！
●ミッフィーおんがくかきかたのーと
①② 3月中旬 各32頁 各700円
●ミッフィーおんがくのーと 2・3・4段
(シール付き) 3月中旬 各250円
●ミッフィーおんがくレッスンノート
(シール付き) 3月中旬 500円
●ミッフィー月謝袋 レッド・ブルー
3月中旬 400円 (10枚入り 1セット)



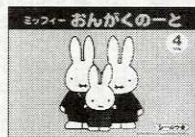
ツェルニーコンタクト



よい子のバイエル導入ドリル



がくふのーと



ミッフィー
おんがくのーと



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★カワイ出版

●ピアノのためのイメージ曲集 スケッチブック 佐藤敏直 作曲 88頁 予価1,800円+税 初~中級
1992年から1993年にかけて、雑誌に連載された作品による子どもの為の曲集。絵画や色をイメージして作曲された43曲。
●ピアノ淡彩画帖 佐藤敏直 作曲 56頁 予価2,000円+税 中~上級
昨年急逝した佐藤氏による演奏会向けピアノ曲集。第I集~III集の計10曲からなる曲集。

★音楽之友社

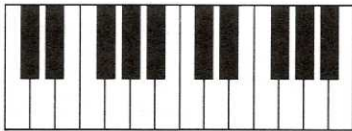
●書籍 ピアノ演奏芸術 ゲンリッヒ・ネイガウス著 予価2,800円 3月下旬発売
すぐれた演奏家を育てた指導力で知られる著者によるピアノ演奏芸術についての1999年版原書をもとにした改訂完全新訳版。リヒテル・ギレリス・ルプーを育てた名教授です。

★共同音楽出版社

●ピアノフォーステップ (曲集) 伊藤嘉子他編著 1800円+税
初歩の段階から中級までのピアノ演奏テクニックと表現力を身に付けるために全体を4段階に分け、既存の曲で練習出来るよう編集しています。



ピアノのための
イメージ曲集



ピアノ指導の現場から



ショック 衝撃 ～指導者の試験にミュージック・セラピを～

誰でも「ショックを受けた」という体験をもっているに違いない。それが年齢を重ねるうちに、たいしてのことにはショックを受けなくなるのだ。

それが、である。つい最近、大きなショックを受けたのだ。打撃と言ってもよいだろうか。それは「音楽教育家というものは、馬車馬のように子どもを音楽の世界へひたすらひっぱり込んだり、可能な限界まで、あるいは可能性の限界を超えるところまで、かれらをひっぱっていかなくてはならないのである」。

このくだりを読んだ時である。え、誰の言葉か、ですって？。山松質文著『音楽的才能』(大日本図書)という書籍の中の一文である。筆者は、教育者たる者、その生徒(子どもとは限らない)の才能を極限までひっぱり上げることが使命なのだと思ひ込んでいたからである。だから、ひたすら子どもたちの音楽性を開発しようと、ピアノ演奏検定を実施したり、コンクールを始めたりしたのだ。自分が今まで、困難な道を歩んできたのは、何であったのだろうか。そんな思ひが横切ったのだ。

「音楽的才能とは、実に掴みどころのない言葉だ。日本の書籍どころ神田の本屋を歩いている時、ふと目にしたこの題名に惹かれたので、この本を購入した。ちょっと長くなるが、山松質文氏の言葉を紹介しよう。

「音楽教育というものは、音楽的才能を伸ばしてやることだというのが、むしろ一般的な考え方なのかもしれない。音楽的才能に優劣があるとすれば、勢い劣等者よりも優秀者に目をかけがちな。音楽の専門教育はその最たるものであるが、専門教育でなく一般教育においても教師は、自然のある生徒や学生に一層力をはいるというのが自然の勢いである。しかし教育というものは、そうであってはならない。むしろ音楽的才能に恵まれない生徒や学生が、すこしでも音楽を楽しめるようにしてやることのほうが大切だと思う。とくに障害児のための音楽療法(ミュージック・セラピー)に専念している筆者の立場からすれば、音楽的才能の有無にかかわらず、彼らを音楽を媒介として、援助しなくてはならない。一中略一 音楽教育家たるものは、子どもの音楽的行為ばかりでなく、彼の音楽的行動以外の行動にも、目をそそがなくてはならぬということである」。これに、前述した「音楽教育家というものは、馬車馬……」と続くのである(文中の傍点は、筆者による)。

筆者は、もう20年以上も以前の苦い体験を思い出した。筆者のところに、満3歳になったばかりの双子の男児がピアノを学びに来た。当然のことながら、筆者は誠心誠意音楽を教えた。否、そう錯覚していたのかもしれない。1人より2人の方が楽しい。2人の

子どもたちは、順調な伸びを示していた。筆者は、これでもできる、あれもできると、次から次へと進度を早めていた。この子どもたちは実に音楽的才能に恵まれている、そう思っ有頂天になっていた。「ソナチネアルバム」に入るか入らないかの頃、母親が1人で筆者のところに来てきた。「今まで本当によく教えていただきました。でも、毎回毎回やっとの思いでお稽古してきたんです。とうとう息切れしてしまっただけで、子どもたちがピアノを辞めたいと言ってきかないのです。特に○○の方は、音楽的才能に恵まれていないようで…」。そのとき、筆者は、ああゴムを伸ばしすぎたと感じたのだ。それ以来その子どもたちは、ピアノを辞めてしまった。その時、筆者がこの一文を読んでいたら、ただ馬車馬のように突っ走っていかなかったら…と今思うのだ。

ショックといえば、これも17.8年前のこと、アメリカの「バスティン・スクール」(※1)でこのことを思い出した。それは、子どもたちが、自分の作品を演奏しあって友だち同士で批評しあっている授業を見学した時のことだ。例えば、1人の子どもはピアノ個人レッスンで、『ブルグミュラー』の《バラード》を弾いていた。また1人は、『ソナチネアルバム』の一つの曲を弾いていた。その後のソルフェージュのグループ・レッスンの時間には、それらの曲と同じ程度の曲、すなわちソナチネを作曲してきて自作自演するのだ。作曲を専攻した筆者が、ソナチネを作曲したのは相当大きくなってからだった。その時、バスティン・メソッドの偉大さにショックを受けたのだ。

そう言えば、バスティン文氏はピアニストであり、作曲家そして心理学者でもあった。山松質文氏は音楽療法家(ミュージック・セラピスト)で、『臨床教育心理学』などの書物をたくさん書いておられる文学博士である。

「東京音楽教材研究会」(※2)のメンバーの方々がミュージック・セラピストを講師に招き、学習会を開いていたが、この書物から受けたショックは相当のものであった。もし、音楽指導者の認定試験などが実施されるならば、ぜひ、このミュージック・セラピーに関する試験があつてよいのではないかと思うのだ。

山松質文氏は、音楽才能のある子どもと家庭の分析を行ったり、音楽的才能がどのように形成されるかを解析しながら、その才能を伸ばしていくにはどのように指導したらよいかを、氏自身の体験や具体例を語りながら説き、そして「音楽は人づくりの糧でなくてはならない」と主張しておられるのである。

(昭和63年8月・Our Music139号)

福田靖子著:「音楽万歳」(シヨパン刊)より

※1) バスティンツアーとして、毎年1回、さらなるステップアップを求めて、20名の先生方がジェーン・バスティン先生のご自宅レッスン見学へ行っています。2003.2.23～28の内容をホームページにて掲載中。

URL:<http://www.to-on.com/bastien/index.html>

※2) 東京教材研究会...各種の教材を自主研究しています。東京一泊2日集中講座
日時: 7月26日(土)～27日(日) 10:00～
場所: 東音ホール
内容: バスティン・ピアノベーシックスP～中級
問い合わせ先: 東音企画 TEL:03-3944-1581



～連載～ ピアノレッスンの今後



♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪ 岩瀬洋子・田村智子

☆☆☆講座のご案内☆☆☆

●魅力的なピアノ教室実現のための

「導入指導マスター講座」

講師: 岩瀬洋子/第5期スタート!

今「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない/親子で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいきます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】[日時] 4/10, 5/8, 6/5, 7/3, 9/4

(全て木曜日) 9:45～12:00

【会場】東京芸術劇場第5会議室

(池袋駅西口徒歩3分)

【姫路】[名古屋]にて同時開催。

(ミュージックキー055-989-3900担当: 植松)

●魅力的なピアノ教室実現のための

「ディプロマコース」 講師: 岩瀬洋子

これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容が進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【東京】[日時] 4/11, 5/9, 6/6, 7/4, 9/5

(全て金曜日) 9:45～12:00

【会場】東京芸術劇場第5会議室

(池袋駅西口徒歩3分)

【姫路】[名古屋]にて近々開催予定。

(ミュージックキー055-989-3900担当: 植松)

【熊谷】[日時] 4/18, 5/16

(全て金曜日) 10:00～12:00

【会場】タニタ楽器5Fホール

(0485-21-5721担当: 前野)

なお岩瀬洋子先生、田村智子先生の講座についての詳細・お問合せはミュージックキーまでご連絡ください。

ムジカノーヴァ4月号特集「ピアノ楽器学入門」“生徒の素朴な疑問にきちんと答えたい”に岩瀬洋子先生執筆。同じくムジカノーヴァ「ちょっと聞いてよ!」のコーナーに田村智子先生執筆連載中。

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)

FAX 03-3866-2222 <http://www.prima-gakki.co.jp/>

札幌営業所

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50

TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115